

授業科目名	国語科教育法 (2100262)		
時間割名	国語科教育法 (32109)		
時間割担当	西辻正副		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・2		

### 授業の目標・概要

我が国の国語科教育の現状と課題，史的変遷などを踏まえ，学習指導要領の確実な理解を図り，話すこと・聞くこと，書くこと，読むことなど，総合的な言語能力を育成するための指導と評価の在り方について考える。授業は，ペアやグループなどによる活動を重視する。

### 学習の到達目標

中学校・高等学校国語科の授業を担当するために，身に付けておかななくてはならない基本的な内容を学び，国語科の授業を計画，実施，評価，改善するための基盤となる力を育成することを目標とする。

### 授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して，テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。ペアやグループ学習，取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。

### 授業計画

- 第1回 国語科教育の現状と課題，今後の方向性  
我が国の国語科教育の現状と課題を捉え，それを踏まえた今後の指導改善の方向について考える。
- 第2回 国語科教育の必要性和意義  
国語科教育の史的変遷を踏まえ，中・高等学校における国語の指導の必要性和意義について考える。
- 第3回 中・高等学校国語科の目標と内容  
学習指導要領国語の目標や内容等を総則の規定も踏まえて理解し，国語科の指導について考える。
- 第4回 「話すこと・聞くこと」の学習指導(1)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「話すこと・聞くこと」の指導の在り方について学ぶ。
- 第5回 「話すこと・聞くこと」の学習指導(2)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「話すこと・聞くこと」の授業実践について考える。
- 第6回 書くことの学習指導(1)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「書くこと」の指導の在り方について学ぶ。
- 第7回 書くことの学習指導(2)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「書くこと」の授業実践について考える。
- 第8回 読むこと(近代以降の文章を教材)の学習指導(1)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「読むこと」(近代以降の文章を教材)の指導の在り方
- 第9回 読むこと(近代以降の文章を教材)の学習指導(2)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「読むこと」(近代以降の文章を教材)の授業
- 第10回 読むこと(古典を教材)の学習指導(1)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「読むこと」(古典を教材)の指導の在り方を学ぶ。

### 成績評価の基準

(授業計画の続き)

- 第11回 読むこと(古典を教材)の学習指導(2)  
学習指導要領を踏まえ，言語活動を通じた「読むこと」(古典を教材)の授業実践を考える。
- 第12回 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の学習指導  
学習指導要領を踏まえ，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導の在り方
- 第13回 学習評価の改善充実(1)  
指導の改善に生きる学習評価の在り方について学ぶ。
- 第14回 学習評価の改善充実(2)  
指導の改善に生きる学習評価の実践について考える。
- 第15回 授業の総括として，これまで身に付けたことについて振り返る。

(成績評価の基準)

授業中に行う活動や小レポート評価し，授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する(40%)。  
課題レポートにおいて，課題探究の深さ，緻密さ，斬新さなどを評価する(30%)。  
学期末においては総合的な理解を確認する(30%)。

### 授業時間外の課題

授業時に，次回以降の学習テーマについて，予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

### メッセージ

学ぶ楽しさを感じることができる授業にしたいと思います。皆さんが，授業に主体的に取り組んでくれることを期待しています。

## 教材・教科書

『中学校学習指導要領解説 国語編』『高等学校学習指導要領解説 国語編』（以上、文部科学省）『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校国語）』『同（高等学校国語）』（以上、国立教育政策研究所）また、「講義ノート」を作成し、毎回配付する。

## 参考書

授業中に指示する。